



やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 夏目雅康 幹事 / 高桑 耐 会報委員長 / 鈴木啓仁
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：有意義で楽しいクラブ活動・例会を考えよう

本年度 17回 通算 1179回 平成 22年 11月 2日 (火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/12 修正出席率
		58名	36名	66.7%	100%

ゲスト：地区補助金委員長 松尾憲二郎さん(小牧) ビジター：(なし)

会長挨拶及び報告 夏目雅康会長



こんにちは。11月に入りまして、駅伝、マラソンのシーズンに入りました。今度の日曜日には、全国高校駅伝の愛知県予選が行われます。今年も地元の高校が頑張ってくれるのではないかと期待をしております。

元米山奨学生のヴァン君の結婚式が盛大に行われたそうです。ベトナムのしきたりで厳粛に行われたそうです。代表して参列頂いた4名の皆さんありがとうございました。

我々のクラブでも行きました上海万博が10月31日に閉幕されました。総入場者数は7310万人で、過去最多になり、史上最大規模の万博となったそうです。

今週のボイスオブ・グットは「どんな政府が最善といえようか？われわれ自身で政治をすることを教えてくれる政府だろう」ゲーテの「箴言と省察」からの言葉です。

幹事報告 高桑 耐幹事

理事会報告

例会臨時変更のお知らせ

次回例会のお知らせ

委員会報告

創立 25 周年実行委員会(小野幹事長)

11月13日の講演会の動員のお願い

ロータリー財団担当例会

委員長あいさつ 樺山修一委員長

こんにちは。11月がロータリー財団の月間ということで、本日は地区の補助金委員会の

松尾委員長にお越し頂きました。新地区補助金について良くご理解頂きまして、財団への100ドル寄付のご協力を頂きたいと思います。

卓話「新地区補助金について」

地区補助金委員長 松尾憲二郎氏

11月はロータリー財団月間です。貴クラブで財団の補助金制度について説明させていただくことが出来感謝申し上げます。



2009-2010年度大澤年度では、「毎年あなたも100ドルを」の標語のもとに皆様方より財団年次寄付金で総額2,730ドル(1人当たり51.51ドル)そして用途指定寄付611.11ドル合計3,341.11ドルのご寄付をいただき本当にありがとうございました。是非とも今年度は「毎年あなたも100ドルを」の目標達成にご協力をお願い申し上げます。

ロータリー財団活動には、大きく分けて2つの活動があります。財団活動のエネルギーとなる寄付金を集める委員会(資金推進、ポリオプラスの2委員会)とご寄付いただいた寄付金を活用する委員会(補助金、ロータリー財団プログラム、世界平和フェロシップの3委員会)の5委員会から構成されております。各委員会の詳しい活動については配布いたしましたA3版の地区ロータリー財団委員会概要に記してあります。

又、ポリオプラスでは片山年度よりゲイツ財団の1億ドルの寄付金にあわせ財団も同額のポリオプラス1億ドルチャレンジがスタートし今年度募金3年の最終年度です。

2760地区では総ての会員から毎年1000円

のご寄付を集めることになっております。尚、不足額については財団委員会の地区財団活動資金（DDF）より補填し所定の金額をロータリー財団に送ります。

さらに、大澤年度に入りゲイツ財団より1億5500万ドルの上乗せ寄付が表明され、ロータリー財団もこの申し入れに対応してポリオプラス2億ドルチャレンジを決めました。これによりポリオ撲滅に大きな前進の再スタートとなります。この追加の寄付金については、会員から寄付を募るのでなく地区資金と地区ロータリー財団委員会の持っているDDFより充当して求められている寄付金額を納めることになっております。今年1月、ポリオプラス委員会と有志のロータリアンが実際にポリオの発生しているインドでワクチンの投与を行っております。

次に、ロータリー財団への寄付金の行方について説明させていただきます。今年度より2760地区はロータリー財団未来の夢計画のパイロット地区に指定され従来の資金の使い方が変更になりました。

3年前に寄付していただいた年次寄付金と恒久基金の運用利息の合計をWF（国際財団活動資金）とDDF（地区財団活動資金）に50%ずつに分割されます。大澤年度まではこのDDFで地区補助金、国際親善奨学金、GSE、ポリオプラス、世界平和フェロシップを実施してきました。しかしパイロット地区に指定された今年度よりDDFは、新地区補助金に50%以下、グローバル補助金に50%以上、ポリオプラスへの寄贈、世界平和フェロシップへの寄贈に振り分けされます。DDFの最大50%までが新地区補助金に、DDFの最小50%までがグローバル補助金に分けられ、共に人道的、教育的プログラムに利用されます。DDFの活用の点では従来より地区の裁量が大きくなりました。

この新地区補助金は、今年度県内52RCのプロジェクトでご利用していただきます。今年度の新地区補助金の総資金枠は170,687ドルとなっています。この新地区補助金枠を全額使い切るよう各クラブ、地区委員会に昨年11月より機会あるごとに人道的、教育的プログラムの事業の計画・申請をお願いしてきました。今年2月に申請を受付し4月末にガバナー出席のもと審査会が開かれ52RCからの新地区補助金申請が承認されました。総額170,685ドルです。具体的な各クラブの

補助金事業の概要と補助金額は配布の資料で確認してください。障害者支援、スポーツ大会、子供教室、緑化・環境保護、奨学金、海外の弱者支援他さまざまな事業が取り上げられており是非とも次年度は豊川宝飯RCからの補助金申請をお待ちしております。こんな事業は対象になるか等どしどし補助金委員会、又はガバナー分室に問い合わせてください。会員の皆さんの寄付金が増えてくるとの考え方で、積極的に利用する方策を見つけ出してください。補助金委員会は協力いたします。

又、グローバル補助金は新地区補助金と同額の170,687ドルの資金枠のもと、DDFの資金と同額のWFの資金とを組合わせて総額30,000～400,000ドルまでの長期、大型のプロジェクトに利用されます。利用目的がRIの決めた重点6分野（平和と紛争予防/紛争解決 疾病予防と治療 水と衛生設備 母子の健康 基本的教育と識字率向上 経済と地域社会の発展）の事業に利用できます。グローバル委員会は各クラブの相談に乗り、RI日本事務局のグローバル補助金担当者との調整連絡に当たっております。各クラブで計画・実施されている海外での人道的プロジェクトが、新地区補助金、あるいはグローバル補助金の支給対象プロジェクトになるものが多くあると思います。是非とも、お問い合わせください。

ロータリー財団の卓話をお聞きいただきありがとうございました。

ニコニコボックス

樫山修一会員	本日の例会を担当します
内藤泰通会員	久しぶりに出席します
原田邦夫会員	誕生日を祝って頂き
大岩一仁会員	〃
柴田浩志会員	〃
太田 稔会員	〃
近田邦満会員	〃
高桑 耐会員	事業所創業を祝って頂き
永田恵照会員	〃
波多野四郎会員	〃
林 博宣会員	〃
小野喜明会員	〃
鈴木啓仁会員	入会記念日を祝って頂き

会報担当者：鈴木啓仁会員、土井昌司会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。